

令和4年2月社会教育委員会議全体会 書面表決結果 (書面開催)

令和4年2月社会教育委員会議全体会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集しての開催を取り止め、吹田市非常災害時における執行機関の附属機関の答申の特例に関する規則第2条に基づき、書面の提出により各委員の御意見を受ける方法により開催しました。

1 会議成立の確認

社会教育委員総数 12名 書面提出者 10名

吹田市社会教育委員会議規則第3条第6項「全体会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない」に規定する会議成立の要件を、意見提出を以て出席とみなすことにより満たしています。

開催方法：令和4年3月9日を期限とする書面審議

2 次第及び御意見

御意見に対する各室課の考え方につきましては、御意見の後に点線で囲った枠の中に室課名をつけてお示ししています。

(1) 令和4年度当初予算(案) 地域教育部所管分について

概要 令和4年度地域教育部に係る当初予算は、社会教育費と児童福祉費を合わせて6,756,513,000円です。令和3年度は、6,007,444,000円で749,069,000円の増額となります。増額の主な理由は、社会教育費のうち令和4年度に共用開始予定の北千里小学校跡地複合施設建設費が632,028,000円増によるものです。児童福祉費の放課後子ども育成室分については、入退室、保育料徴収などの業務のデジタル化を進めるための支援システム導入に係る費用の増、千里丘北留守家庭児童育成室増築等の工事に係る費用及び留守家庭児童育成室運営委託料の増、留守家庭児童育成室運営業務の委託に係る引継ぎ保育に係る補助金の新設などで107,855,000円の増となりました。

令和4年度の吹田市の一般会計予算は151,294,450,000円で対前年比10,533,720,000円増額です。また、一般会計に占める地域教育部の予算の割合は、約4.47%で前年度の4.27%に比べると0.2ポイントの増となっています。

(御意見) 必要な予算を確保され、今後の取組の充実が期待されます。

(まなびの支援課) 新しい生活様式への対応を含め、より多くの市民に生涯学習に関する情報を提供するため、ICTの活用を進めます。

(御意見) 一般会計に占める地域教育部の予算の充実に今後とも期待します。吹田市が学校のみならず教育福祉事業に意欲的な自治体であることのエビデンスかと思えます。

(まなびの支援課) すべての市民が豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、幅広い学習の場を提供し、いつでもどこでも学べる環境づくりを進めます。また、図書館、博物館等の施設の活用により、生涯を通じて市民の多様な興味・関心に応じた学びを提供します。

(御意見) コロナ禍ということでの影響もあるかと思えます。北千里の複合施設建設の進みぐあいも楽しみです。

(まなびの支援課) 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、先行きが不透明な状況が続く中、持続可能な財政運営に努めています。

北千里小学校跡地に整備する複合施設「まちなかりビング北千里」は、令和4年7月末にしゅん工を予定しており、8月から指定管理者による開館準備を行ない、11月22日に供用開始する予定です。

(2) 第3次吹田市生涯学習（楽習）推進計画の進捗状況について

概要 第3次吹田市生涯学習（楽習）推進計画は、市民の多様な学習要求に応え、自主的に学習できるような環境づくりを目指すために平成28年（2016年）3月に策定されました。計画の期間は、平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）の10年間でその進捗状況を毎年、社会教育委員会議で報告し御意見を頂戴しながら次年度の活動に活かしております。

令和2年度の主な実績の概要は、以下のとおりです。

まず、基本方向Ⅱ「活動の支援」推進政策3「ICTを活用した学習情報の収集・発信」においてバーチャル吹田生涯学習センターについては、新たに大学教授による教養講座を市ホームページで配信し、視聴回数は1,731回となっております。

また、推進政策11「保育付き講座の開催」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の対面型講座ではなく、保育を伴わないオンライン講座として4回開催しました。

次に基本方向Ⅳ「広範な学習機会づくり」推進施策3「大学・近隣市・民間企業との連携」においては、新型コロナウイルス感染症の影響により関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携による生涯学習吹田市民大学を中止しましたが、オンラインの活用を含めて新しい生活様式に対応した開催方法を検討することとな

りました。

(御意見)「推進施策3」では、大学等との連携講座の開催などを実施しておられる。吹田市内には高校も位置しており、何らか地域との連携ができればよいかと考えます。

(まなびの支援課) 現在実施している事業を含めて、地域との連携が可能な内容を模索してまいります。

(御意見) 吹田市民大学のオンライン化をぜひ実現させてください。

(まなびの支援課) 令和3年度は、生涯学習吹田市民大学における大学連携講座で4回、公民館での特別講座で1回、オンライン講座を実施しました。次年度以降も引き続き新しい生活様式への対応を含めて、オンラインを活用した講座の検討を進めてまいります。

(御意見) こちらも、コロナ禍における対応を進めていただいております。バーチャル吹田生涯学習センターは、デイサービスや、またそこに行けない方に向けて、ケアマネさんなどに周知してもらい、利用を進めてもらえればよいのではと思います。

(まなびの支援課) 関係部局と調整を図る等、御提案いただいた情報発信の方法を模索してまいります。

(3) 令和3年4月～9月実施後援事業について

概要 令和3年4月から9月までに実施した後援事業です。まなびの支援課所管の事業で17事業、青少年所管事業で10事業を後援しています。令和2年度と比較して増えてはいるものの新型コロナウイルス感染症の影響によりコロナ禍以前よりは大幅に事業が減っています。

(御意見) 上記「議題2」でも書かせていただいたが、吹田市にある幼・小・中学校校や保育園、青少年育成の観点から、高校の地域連携ができないかと考えます。一方、新型コロナウイルス感染症対応のために予定していた事業の中止や延期など計画どおりにいかず、市のご担当者のご苦勞が推測されます。

(青少年室)吹田市では、中学校区に地域教育協議会、小学校区に青少年対策委員会や青少年指導員会が組織され、地域の創意工夫の下で、子供たちのためのイベント等の開催や放課後の児童の安心安全な居場所づくりなどに活発に取り組まれています。

これらの取組の中には、市内の高校と連携し、高校生の方々の協力を得て、取り組んでいる事業もございます。

また、青少年室の「子ども・若者総合相談センター」では、高校生を含めた課題を抱える39歳までの子ども・若者を対象に、青少年相談を実施しています。

昨年度から、新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定どおり事業が開催されていませんが、十分な感染対策をとりながら、引き続き、高校と連携し、これらの事業に取り組んでまいります。

(御意見)数の減少はしかたないことと思います。ガールスカウトでは、オンラインの体験会を後援事業にさせていただき、小学校等にチラシを配ることができたので大変ありがたかったです。

(青少年室)吹田市では、様々な団体が青少年を対象としたイベント等を実施し、多種多様な体験活動の場を提供しています。

令和3年度はコロナ禍により、中止や延期となった事業がたくさんあり、後援件数はコロナ禍以前より減少しているものの、感染対策をとりながら、広く子供たちが参加・体験できるよう工夫しつつ、可能な範囲で事業を実施されている団体もおられ、青少年教育に資する事業展開が行われているものと認識しております。

青少年室といたしましては、引き続き名義後援を通じて、これらの活動を支援してまいります。

(4) その他 令和3年度吹田市立図書館の主な取組について(報告)

概要 令和3年度は、図書館が将来の図書館運営に向けていろいろな取組を始めました。その取組と令和3年度運営状況について御報告します。

- 第1 新型コロナウイルス感染症拡大下における図書館の運営状況について
- 第2 電子図書館の導入について
- 第3 北千里分室から北千里図書館への移転・拡充について
- 第4 江坂図書館の再整備について
- 第5 自動車文庫の廃止及び子ども読書活動支援センター機能の開始について
- 第6 「(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画」の策定
- 第7 「吹田市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画(読書バリアフリー計画)」の策定

(御意見) 計画的に施設整備を進められ、今後の活用推進が楽しみです。

(中央図書館) 長年、図書館利用不便地域であった岸部地区に健都ライブラリーが開館し、市内図書館は10施設となりました。この市内図書館網を活用し、今後、提供していくサービスについて(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画(令和5年3月策定予定)にまとめる予定です。

(御意見) 所蔵空間の狭隘化対応として、また、若年世代の読書活動促進方法の一つとしても、電子図書の充実に期待します。

(中央図書館) 電子図書については、図書館へ来館を必要としないサービスとして広報や学校現場との連携を積極的に行ってまいります。その他、所蔵空間の狭隘化対応としては、北千里分室の移転拡充、江坂図書館の再整備と合わせて取り組んでまいります。

(御意見) 緊急事態宣言中の休館はしかたないことでしたが残念です。貸出だけでもできる方法があればいいなと思いました。

(中央図書館) 最初の緊急事態宣言発出時(令和2年4月8日～)は完全休館しましたが、その後、緊急事態宣言下においても予約資料の貸出は再開(令和2年5月11日～)し、資料提供の継続に努めています。